

「オレンジドクター」をご存知ですか？

「オレンジドクター」とは、もの忘れや認知症に関する相談支援を行う医師で、山口県のホームページで公表しています。認知症は、もの忘れなどの症状が軽い初期の段階で発見できれば、生活習慣の改善や治療薬によって、認知症の進行を緩やかにできる可能性があります。



気になる症状

こんな症状は、
ありませんか…

新しい出来事が記憶できない

- 以前話したことを忘れ、同じ話を何度もする
- 探し物が増える

時間の感覚が薄れる

- 日付や曜日を間違える
- 予定に合わせて準備できない

不安や混乱をきたす

- いつもと違うことで、混乱をしやすくなる

性格の変化

- 怒りっぽくなった
- 疑い深くなった

意欲の低下

- 趣味に興味を持たなくなった
- 身だしなみを気にしなくなった

判断・行動力の低下

- 計画を立てられなくなる
- 二つ以上のことが重なると、うまく処理できなくなる

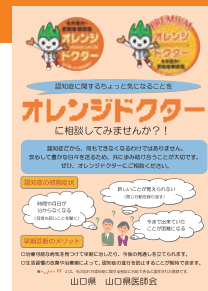


そうだ！

気になることを、
オレンジドクターに相談してみよう！

Q1. オレンジドクターが、どこにいるのか知りたい。

A1. オレンジドクターがいる医療機関には、ロゴマーク入りのプレートとポスターを掲示しています。



また、県ホームページにオレンジドクターの名簿を掲載しています。相談方法等詳細につきましては、医療機関に直接お問い合わせください。

山口県オレンジドクター

検索



Q2. なぜ、認知症の早期発見・早期対応が大切なのでしょうか？

A2. 認知症は徐々に症状が進行する病気ですが、早期に発見して適切に対応することで、その後の生活を自分らしく組み立てることが可能となります。初期の段階（症状については、表面参照）で発見できれば、生活習慣の改善や治療薬によって、認知症の進行を緩やかにできる可能性があります。

Q3. 困った時は、どこに相談したらよいですか？

A3. 市町の地域包括支援センターや在宅介護支援センターをご利用ください。（所在地・連絡先は、各市町高齢者福祉担当課にお問い合わせください。）
県のホームページでも相談先を紹介しています。

山口県 認知症相談窓口

検索



Q4. 若年性認知症について、教えて下さい。

A4. 65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」といいます。仕事でミスが重なる、今まで普通にこなせていたことが出来なくなるといった「何かおかしい」と感じて、疲れやストレスのためと思いこみ、受診・診断が遅れることが多いのです。
気になることがあれば、早めにオレンジドクターや若年性認知症に関する相談窓口などに相談しましょう。

山口県 若年性認知症

検索



○若年性認知症支援相談窓口

若年性認知症支援コーディネーターが、医療・福祉・就労等の相談に応じます。（県立こころの医療センター内に設置）
お気軽にご相談ください。

☎0836-58-2212 ※月～金 8:30～17:15（年末年始・祝日除く）

